

# インド学チベット学研究

JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES

## 第2号

- 藤田祥道 クリキン王の予知夢譚と大乘仏説論  
—『大乘莊嚴經論』第一章第七偈の一考察—..... (1)
- 原田和宗 <経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問 (II).....(22)
- 那須円照 アビダルマの極微論 (2)  
—極微が触れるか触れないかという問題を中心として—..... (60)
- 神子上恵生 唯識学派による外界対象の考察 (1)  
—TattvasaṃgrahaとTattvasaṃgrahapañjikāの第23章  
外界対象の考察—.....(87)

1997年

インド哲学研究会

## 執筆者紹介

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 藤田祥道  | 龍谷大学文学部非常勤講師               |
| 原田和宗  | 高野山大学大学院博士課程単位修了           |
| 那須円照  | 龍谷大学文学部 Teaching Assistant |
| 神子上恵生 | 龍谷大学文学部教授                  |

## 『インド学チベット学研究』購入のご案内

本誌の購入を希望されます場合は実費で頒布いたします。住所氏名および購入希望号と購入冊数を編集者の神子上恵生までご連絡ください。折り返し発送するとともに、費用の支払い方法についてお知らせいたします。費用は、第1号、第2号ともに1310円(送料310円込)となっております。

## バックナンバーのご案内

### 第1号

#### <掲載論文>

|       |   |
|-------|---|
| 神子上恵生 | 唯識学派による外界対象の考察(2)<br>—TattvasaṃgrahaとTattvasaṃgrahapañjikāの第23章<br>外界対象の考察— |
| 若原雄昭  | 仏教徒のジャイナ教批判(2)<br>—Tattvasaṃgraha(-pañjikā), Syādvādaparikṣā 研究—            |
| 藤田祥道  | 『五百頌般若経』について<br>—試訳(承前)—  |
| 那須円照  | 有部の形実有論と経量部の形非実有論(上)  |
| 原田和宗  | <経量部の「単層の」識の流れ>という概念への疑問(I)   |

インド学チベット学研究 2

1997年10月発行

編集者 神子上恵生

発行者 インド哲学研究会

(代表者 神子上恵生)

京都市下京区七条大宮

龍谷大学文学部

神子上(生)研究室気付

電話 (075) 343-3311 (大代表)

e-mail: [mikogami@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp](mailto:mikogami@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp)

郵便振替 00900-6-309785

# JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES

(INDOGAKU CHIBETTOGAKU KENKYU)

No. 2, 1997

## CONTENTS

Yoshimichi FUJITA,

The Story of King Kṛkin's Marvellous Dreams  
and the Position that the Buddha Proclaimed the Mahāyāna Sūtras

—A Study on the *Mahāyānasūtrālaṅkāra*, I. 7—..... (1)

Waso HARADA,

Some questions on the concept

of "Der „einschichtiger“ Erkenntnis-strom der Sautrāntikas" (II)..... (22)

Ensho NASU,

Atomic Theories in the Abhidharma Literatures (2) ..... (60)

Esho MIKOGAMI,

Vijñānavādins' Criticism of External Objects (1)

—A Translation with the Interpretation of the Chapter 23

of *Tattvasaṃgraha* and its *pañjikā*—..... (87)

Editor

Eshō Mikogami

Association for the Study of Indian Philosophy  
Kyoto, Japan